Database Center for Life Science (DBCLS)
Research Organization of Information and Systems (ROIS)

DBCLS Database Center for Life Science

2009.6.12 「統合データベースプロジェクトシンポジウム2009」（武田ホール）

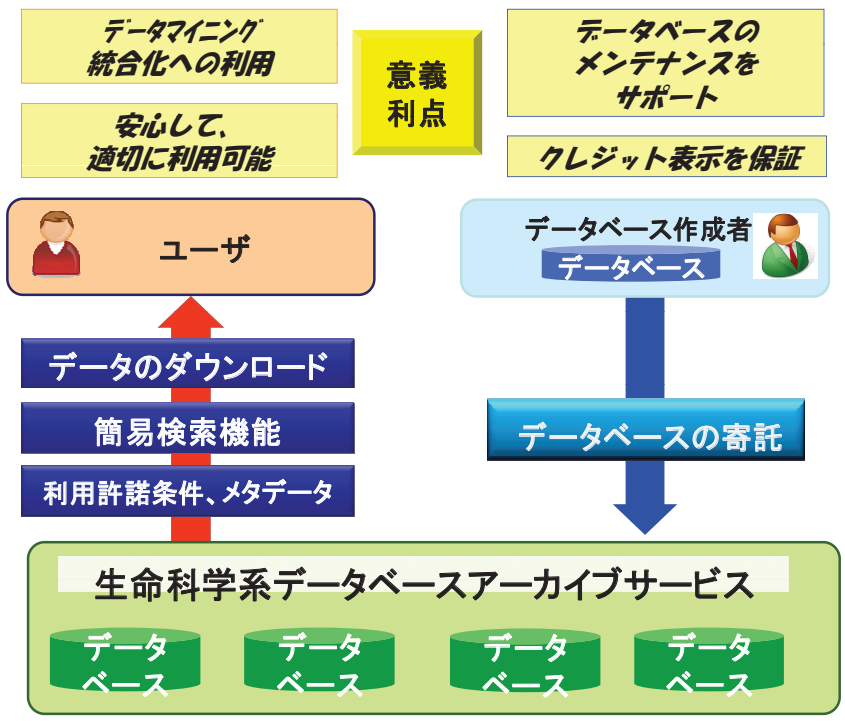
文部科学省委託研究開発事業「統合データベースプロジェクト」

生命科学系データベースアーカイブサービス

○西川哲夫、八塚茂、熊谷禎洋、*片山俊明、大久保公策、高木利久
ライフサイエンス統合データベースセンター
*東京大学医科学研究所

生命科学系データベースアーカイブサービスとは

各研究機関が作成した生命科学系データベースに対して、ユーザーが容易にアクセスして検索やダウンロードができるサービスです。



生命科学系データベースアーカイブサービスの特徴

・メタデータが詳しいので、欲しかったデータベースを容易に検索し、適切に利用可能
全てのデータベースについて、データベースそのものとデータ内容について詳しい説明（メタデータ）が付いていますので、自分の目的に合ったデータベースを見つけだすことができ、また適切に利用することが可能です。

・統合DBセンターに集約することで、アクセスユーザーの裾野を広げることに繋がります。

・データマイニングや他のデータとの組み合わせも可能
収録されているデータベースのほとんどは、一括データダウンロードが可能なので、データマイニングや他のデータとの組み合わせなどによって統合的に使うことが可能です。

・データベースの利用許諾条件が明確
各データベースについて利用許諾条件の情報を提供しているので、データベースの作成者にそのつど問い合わせをする必要がありません。また、制約の少ないデータの再利用を推進するために、標準的な利用許諾条件として「表示・継承」（クレジットの表示と、改変時の利用許諾条件を変えないこと）を推奨しています。

データベースの寄託を募集中！

・ライフサイエンス統合データベースセンターがメンテナンスをサポート（データの保全）
データベースサイトの運営は、ライフサイエンス統合データベースセンターが行うので、面倒なサイト管理が不要になります。希望する寄託者には、個々のデータベースのアクセス統計情報の提供なども行います。

・データベースが再利用される際にはクレジット表示を保証
第三者がデータをダウンロード・再利用して発表した場合には、データベース作成者のクレジットを表示する義務をユーザーに課します（提供条件に”表示”を含む場合）。

今後の展開

次のような仕組みの構築を計画しています。
・横断検索によって、アーカイブデータとその他のデータベースのデータや文献データを横断的に検索。

・ウェブサービス立ち上げにより、アーカイブデータの統合的利用や、各種解析ツールの適用を可能に。

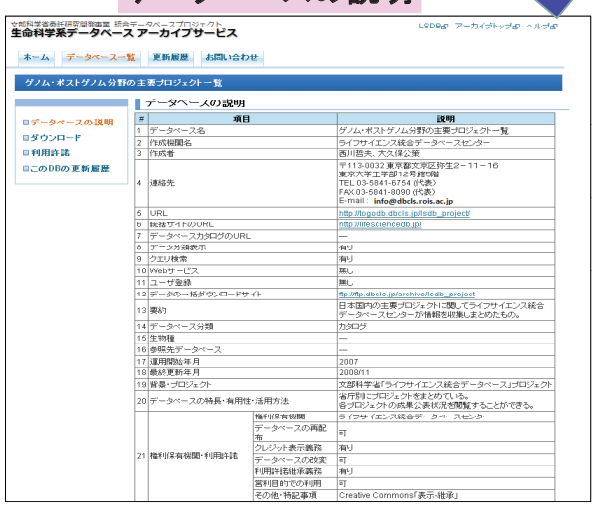
サイトの説明

http://dbarchive.lifesciencedb.jp/index.html

データベースの一覧

データベースの一覧から、関心のあるデータベースを選択します

データベースの説明



データベースに関する詳細な情報（メタデータ）を見ることができます

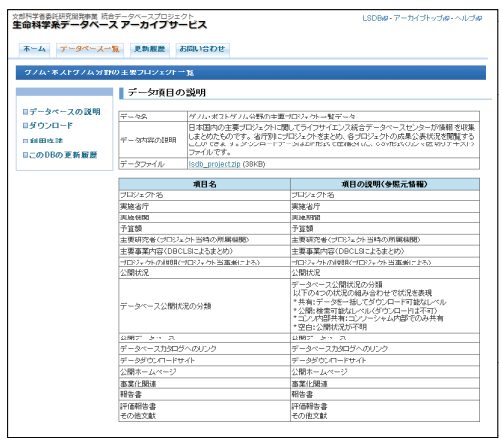
ダウンロード画面

データファイルを一括してダウンロードすることができます

検索画面

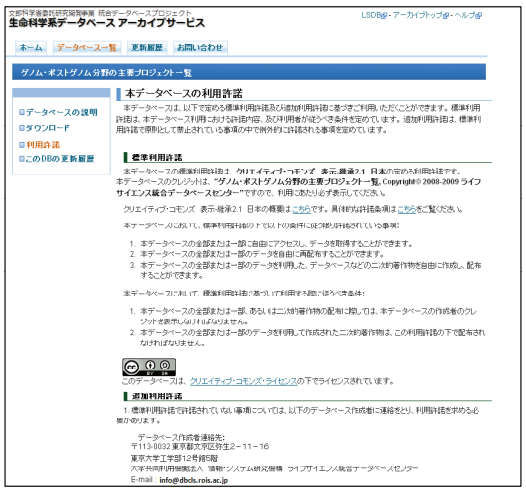
特定のデータを検索してダウンロードすることもできます（統合DBセンターで開発した汎用的なデータベーステンプレートであるTogoDBを利用）

データ項目の説明



1つ1つのデータ項目の意味が説明されています

利用許諾条件



データベースの利用許諾条件が詳細に説明されています